

ごあいさつ

「愛・知・みらいフォーラム」は、2005年の愛知万博（愛・地球博）を契機として、2007年に設立されたNPO法人（特定非営利活動法人）で、未来を担う青少年が、環境・貧困・紛争などの地球規模の課題を自らの日常生活とのつながりの中で理解するための教育的支援（国際理解教育）を活動の目的としております。

設立以来、国際経験・社会経験豊かな講師を県内の中・高等学校に派遣する「出前授業」を活動の柱として取り組み、さらに2011年度からは、毎年夏休みに意欲のある高校生を一堂に集めた「特別講座」を実施しております。

この「特別講座」では、当面する地球規模の課題をテーマに、講師と生徒との双方向による学びと他校の生徒との交流の中で、地球市民としての生き方を考える刺激的な機会を提供するよう努めてまいりました。コロナ禍のため、2020年度と2021年度は開催を見送り、2022年度には規模を縮小して開催しましたが、2023年度は4年ぶりに参加者を公募して、1日のプログラムとして開催することができました。本冊子は、その開催結果の概要を取りまとめたものです。

1930年生まれの私は、1931年の満州事変から、日中戦争、太平洋戦争と、1945年の終戦に至るまで、まさに戦争の中で少年期を過ごしました。旧制明倫中学校（現明和高校）3年生になってからは、勤労働員で学業を離れて市電の車掌をやりましたし、空襲で何人もの同級生を失っています。その戦争中に教えられていたことが、いかに非科学的で荒唐無稽なものであったかを知るのは、戦争が終わってからです。

こうした経験から、さまざまな情報があふれる社会の中で、何が真実かを自ら見極めること、そのために学ぶことがとても大切であると考えています。高校生の皆さんにとって、当フォーラムが行う「出前授業」や「特別講座」がその一助となれば幸いこれに過ぎるものではありません。

最後に、今回の「特別講座」のために貴重な時間を割いていただいた講師の先生方に心より感謝を申し上げますとともに、共催いただいた愛知県国際交流協会（AIA）の職員の皆様、並びに格別のご支援をいただいた名古屋東南ロータリークラブの関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

2023年11月

愛・知・みらいフォーラム
理事長 加藤延夫